

2022年4月12日

各位
会社名 タマホーム株式会社
住所 東京都港区高輪三丁目22番9号
代表者名 代表取締役社長 玉木 伸弥
(コード番号: 1419)
問い合わせ先 常務取締役 管理本部長 竹下 俊一
TEL. 03-6408-1200

2022年5月期 第3四半期決算説明会（テレフォンカンファレンス）に関する 質疑応答概要の公開について

当社は本日、2022年5月期 第3四半期決算説明会をテレフォンカンファレンス形式により実施致しました。

ご出席頂きました皆様から同決算に関するご質問を賜り、以下ご回答を行っておりますのでお知らせ致します。

【質疑応答要旨】

Q1.

平均販売価格の引き上げは順調に進んでいるとの事ですが、基本的にはコストの上昇に見合う形で段階的に上げていっているかと思えます。引き続き販売価格を上げていく傾向なのか、或いは上げた事によって販売への影響はないのか確認させて頂きたいです。

A1.

昨年からのウッドショックの影響等による木材価格や資材価格の上昇に見合う形で販売価格も上昇しており、年明けは一旦落ち着くという見方もございましたが、ウクライナ情勢等による原油価格の高騰により、資材等の価格が引き続き上昇している状況でございます。当社と致しましては、適宜、販売価格に反映させて頂くものの、価格を上昇させるだけでなく、商品の見直しを随時行い、それに見合った形でお客様に満足して頂ける価格設定にて御提供させて頂いております、販売への影響はございません。

Q2.

建売販売用不動産の仕入、棚卸が順調に増えているとの事ですが、大手の競合他社がいる中で採算が悪くなってきているかお伺いしたい。

A2.

販売用不動産の仕入は順調に進んでおります。又、土地価格については適正価格で仕入が来ています。土地の価格上昇、木材価格の高騰を鑑みて、販売価格を適正に設定致しております事で、仕入と販売がバランスよく進捗しております。状況により、仕入を止めている会社もあると聞いていますが、当社としては順調に推移しており、競合他社と比べても採算が悪くなっている事はございません。

Q3.

販売単価が上がっているのは、コスト転嫁が出来ているという事だが、今後も値上げがあった際は注文住宅という商品的にタイムラグがあると思っていのでしょうか。

A3.

毎月、単価等の見直しは行っております。ご質問の通り、注文住宅はご契約からお引渡までにタイムラグが発生致します。次月以降もコスト転嫁が出来ていく予定でございます。

Q4.

ゼロエネルギー住宅について、政府がローン減税や補助金等の政策を行っておりますが、ゼロエネルギー住宅の比率はどのようになっていますか。

A4.

ゼロエネルギー住宅に関しましては、年間で10～20棟の販売状況となっております。太陽光発電に関しては、現状、全体の約20%の搭載率でございます。

Q5.

東京都で（新築物件の屋根に太陽光パネルの設置を）義務化する条例が出来た場合、基本設計を変えずに太陽光発電が搭載でき、補助金が出れば、利益的にニュートラルになると考えていいのでしょうか。

A5.

当社は既に安く太陽光パネルの仕入が出来ております。お客様への販売価格も安くなる為、ニュートラルよりは有利に働くと考えております。

Q6.

昨年合板不足の話聞くようになり、さらにロシアのウクライナ侵攻の影響もあり、加えて単板の調達も難しくなっていると聞きます。日本の単板の多くはロシア産に頼っているところもありますが、御社の単板の調達状況についてはいかがでしょうか。

A6.

弊社は今後、すべての単板木材に国産の杉を使用するように動いております。又、西日本エリアにおける商品は、単板の部分はすべて国産のヒノキを使用しております為、木材の供給に関するリスクに関しては、ほぼないと考えております。

以 上